

# 2022 年度事業報告

一般社団法人日本ハンドベル連盟

コロナ禍 3 年目を迎えた 2022 年、依然収束の兆しは見えないものの、日常を取り戻す動きは加速しました。日本ハンドベル連盟でも、3 年ぶりの指導者講習会や多くの地区フェスティバルの実施など、夏期講習会以外のほぼすべての事業が再開され、活動が戻りつつあります。

従来の活動のみならず、ユースフェスティバルの開催といった新たな試みにも挑戦し、コロナ禍で手探りで始めたオンライン講習会やライブ配信なども変わらず好評を博した 1 年でした。

しかしながら 3 年におよぶ行動制限は、連盟会員、特に一般団体への影響が大きく、この 1 年も多くの団体が活動休止を余儀なくされました。結果、連盟の会費数減少傾向には歯止めがかからず、会費収入は昨対でも 95%、2019 年度比では 85%まで減少。寄付金収入は、同じく 2019 年度比で 33%まで落ち込んだままで、厳しい状態が続いています。それでも、数年前からの運営の簡素化や経費の削減が功を奏し、また講習会収入が増えたことにより、マイナス予測だった 2022 年度の収支はわずかながらプラスに転じました。

## 事業実施状況

### (1) 講習会事業

6 月には指導者講習会を 3 年ぶりに対面で開催し、54 名に参加いただきました。都心で実施したことで宿泊自由とし、通いやすさも好評でした。また、夏期講習会中止の代わりとして 2021 年に始めたオンライン講習会の第 2 回目を 8 月に実施。2 日間で計 40 名が受講し、のべ 164 名の視聴を得ました。2023 年 3 月には、36 名参加のもと小編成講習会も実施しました。

### (2) 演奏会支援事業

11 月の全国ハンドベルフェスティバルでは初の「ユースフェスティバル」を併催し、演奏に対する講評など新たな試みを行いました。前年に始めたムービー参加枠をユースのみ継続することで、遠方の学校の参加も促しました。また関東フェスティバルが 3 年ぶりに無事開催したほか、他の地区フェスティバルも軒並み再開の動きが目立ちました。

### (3) 国際交流事業

8 月のアメリカ世界大会は無事実施に至ったものの、春までの感染状況悪化により日本からの一般参加は皆無となりました。しかしマスリンギングや大会直前のユースプログラムに指揮者を送れたことで日本の存在感は確保でき、また 2024 年日本大会の布石を打つことができました。国際ハンドベル委員会 (IHC) ではメールやオンライン会議による情報共有を密に行っています。

### (4) 講師認定事業

2022 年度も条件緩和と課題提出による更新対応を行った結果、11 名が更新。また制度の告知に注力し、数年講習会が開催されなかった時期にも関わらず 2 名が新規に認定されました。

### (5) 広報・情報発信事業

6 月に会報を発行。またホームページを活用し、各種資料の取得を簡易化しています。

### (6) 福祉事業

NPO 法人の残余財産を福祉施設に寄付しました。

## 2022年度 収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般社団法人日本ハンドベル連盟  
(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
前年度繰越金		1,456,516		
I 収入の部				
会費・入会金収入	6,500,000	6,460,000	-40,000	
受取入会金		47,000		
受取会費		6,413,000		
2 事業収入	3,400,000	4,359,600	959,600	
講習会事業	2,200,000	2,737,700		
フェスティバル事業	900,000	1,176,900		
ハンドベル世界大会事業	0	100,000		参加費収入
講師認定事業	300,000	345,000		
3 補助金等収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入				
民間助成金収入				
4 寄付金収入	300,000	473,979	173,979	
一般寄付	300,000	410,000		
使途指定寄付：ベル基金		63,000		
使途指定寄付：世界大会		979		
5 その他収入	0	37	37	
利息収入		37		
雑収入		0		
当期収入合計	10,200,000	11,293,616	1,093,616	
II 支出の部				
1 事業費	3,930,000	4,140,962	210,962	
講習会事業	1,650,000	1,790,225		
演奏会（フェスティバル）事業	1,400,000	1,474,079		
ハンドベル世界大会事業	500,000	468,723		参加費、通訳、補助金
講師認定事業	30,000	88,770		冊子制作含
情報発信事業	350,000	319,165		
その他事業	0	0		
2 管理費	7,094,000	7,013,590	-80,410	
給与手当	4,300,000	4,291,275		
福利厚生費	0	17,689		
旅費交通費	400,000	512,313		
通信費	300,000	270,545		
会議費	250,000	193,898		
交際費	20,000	62,162		供花代等含
什器備品・リース	560,000	549,612		
水道光熱費	130,000	145,933		
消耗品費	320,000	318,561		
保険料	0	0		
租税公課	250,000	86,400		NPO法人税含
支払手数料	30,000	37,202		
顧問料	484,000	528,000		
寄付金支出	0	0		
雑費	50,000	0		
当期支出合計	11,024,000	11,154,552	130,552	
当期収支差額	-824,000	139,064		
次年度繰越金		1,595,580		

# 2022年度 会計貸借対照表

2023年3月31日現在

一般社団法人日本ハンドベル連盟

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	100,482	
普通預金 みずほ銀行江戸川橋支店	4,217,449	
前払金	728,000	
流動資産合計		5,045,931
2 固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,045,931
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	3,357,600	
源泉所得税	22,751	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		3,450,351
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		3,450,351
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,456,516
当期正味財産増減額		139,064
正味財産合計		1,595,580
負債及び正味財産合計		5,045,931

一般社団法人日本ハンドベル連盟

理事長 下田 和男 様

## 監査報告書

2023年4月28日

一般社団法人日本ハンドベル連盟の2022年度収支計算書、貸借対照表、事業報告書について監査した結果、正確かつ適正であることを確認いたしましたので、ここにご報告いたします。

一般社団法人日本ハンドベル連盟

監事 大塚 安宏 

監事 市川 麻友 